

2009年度

科目名	ピアノA				
担当教員	阪口 むつみ				
配当	教福1			コード	53450
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	1
授業テーマ	ピアノ表現基礎「ピアノが弾ける楽しさ」				
目的と概要	ピアノの経験が無い学生を対象にした授業です。グループ指導と個人指導を組み合わせながら授業を進めてゆきます。大人になって始めるピアノの学習には、子どもが学習する以上の「しんどさ」があります。まして、免許・資格のために学習するピアノは、よりそう感じるものです。学習上避けられない読譜やフィンガートレーニングは、ゲーム感覚で挑戦しましょう。ピアノの学習には音楽の知的理解が必要です。「分かる」は楽しさにつながります。楽曲の説明時には譜面にメモをすることが大事です。初めてのピアノ学習として、まず弾ける楽しさを感じ得るのが授業の目的です。授業中、分からないことは積極的に質問してください。				
成績評価法	授業や学習への意欲(20%)、および演奏発表①(20%)・演奏発表②(30%)・試験(30%)の音楽表現力で評価します。				
テキスト	特に定めていません。				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	授業の対象は、1)ピアノの学習経験が無い、2)片手で引ける程度、3)低音部譜表(へ音記号で書かれた楽譜)が読めない人です。自己判断が難しい場合は、履修登録までに音楽館3階の阪口研究室へ相談に来てください。				
講義計画					
第1回 ガイダンス ピアノを弾くとは？ 第2回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第3回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第4回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第5回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第6回 演奏発表① 人前での表現力と演奏聴取力の養成のために 第7回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第8回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第9回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第10回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第11回 演奏発表② 人前での表現力と演奏聴取力の養成のために 第12回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第13回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第14回 読譜・フィンガートレーニング、課題曲のレクチャー(楽曲構造理論、演奏上の留意点、範奏) 第15回 演奏表現のまとめ					